



検査から結果までの流れ

予約

ミルテルと契約している医療機関へご連絡いただき、採血を予約してください。

採血

採血するのは少量です。問診と合わせても数分程度で終わります。

検査 解析

ミルテル検査センターで届いた血液を解析します。

結果 通知

採血から約1ヵ月後、受診された医療機関を通じて結果をお返します。

契約医療機関はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mirtel.co.jp/service/search/>

よくあるご質問

Q いくらで検査を受けることができますか？

A ミルテルと契約している医療機関にお尋ねください。

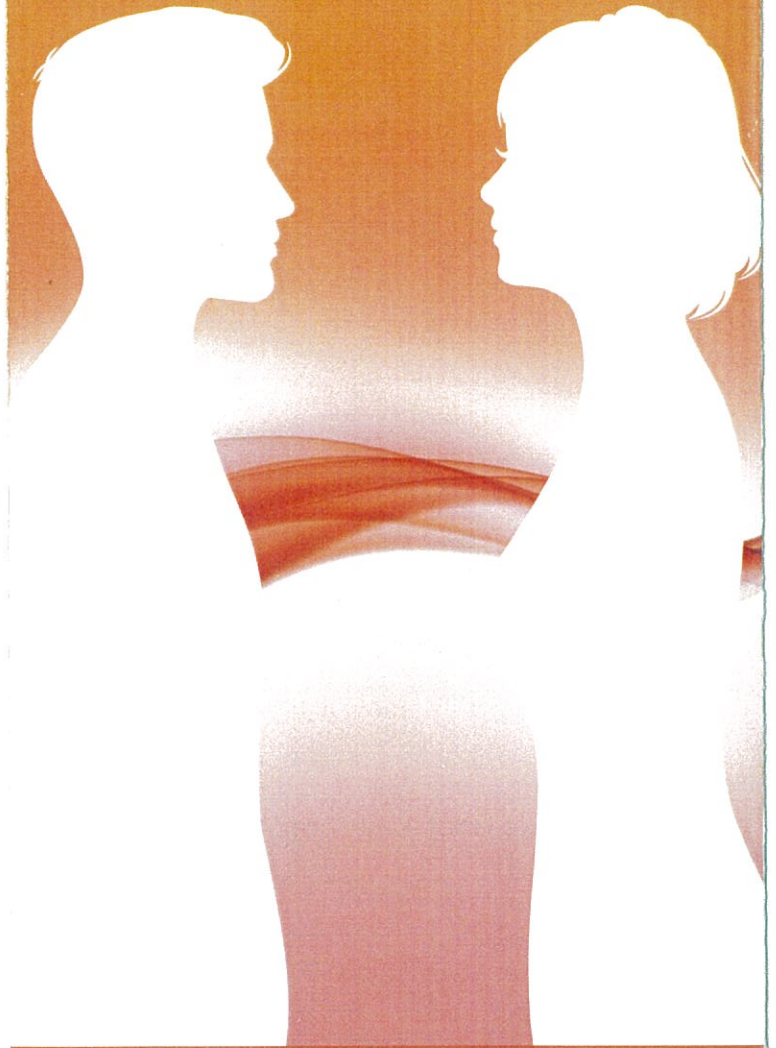
Q 検査にあたり食事制限はありますか？

A 食事により結果が変動する検査ではありませんが、一部乳糜しやすい方がいらっしゃいますので、食後1時間空けていただくことを推奨しています。

MiRTEL

株式会社ミルテル
本社：広島県広島市南区出汐一丁目2番10号

がんとアルツハイマー型認知症の
リスクを早期の段階から
調べることができます。



血液検査でわかる
がん・アルツハイマー型認知症のリスク

ミアテストプラチナ

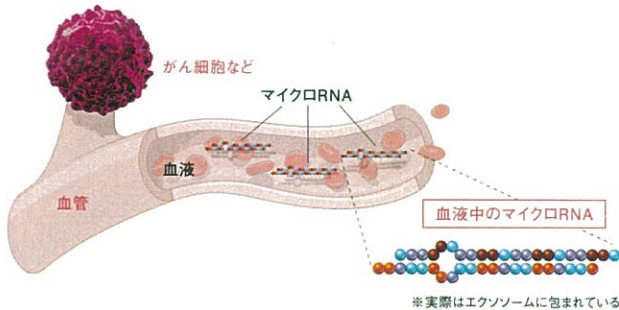
早期発見のための血液検査

ミアテストプラチナは、がんとアルツハイマー型認知症のリスクを調べることができる血液検査です。早期の段階からリスクを捨てる可能性がありますので、がんとアルツハイマー型認知症の早期発見・早期治療につながる検査です。



近年注目の「マイクロRNA」を測定

ミアテストプラチナで調べるのは、「マイクロRNA」という遺伝子をコントロールする小さなサイズのRNAです。早期のがんなどでは、特定のマイクロRNAの増減が見られるので、ミアテストプラチナはこれを測定することで、リスクを判定します。



マイクロRNAとは

マイクロRNAは、約22個の遺伝子情報からなる小さなRNA(リボ核酸)で、エクソソームという小さい粒子に包まれて、細胞や組織から血液中に放出されます。エクソソームは体中に存在しますが、がん細胞などからは特別なエクソソームが放出されるため、早期の段階から疾患のリスク判定に役立てることができます。

気になる疾病を選んで受けられます

ミアテストプラチナは、男性は13種類のがん、女性は14種類のがんと、アルツハイマー型認知症のリスクを調べることができる血液検査です。最低3疾病から受けることができますので、気になる疾病だけ選んで検査することもできます。

ミアテストプラチナで検査可能な疾病

- 男性：13種類のがんとアルツハイマー型認知症
- 女性：14種類のがんとアルツハイマー型認知症

- | | |
|------------|---------------|
| ● 肺がん | ● 甲状腺がん |
| ● 食道がん | ● 脳腫瘍 |
| ● 胃がん | ● 胆のうがん |
| ● 大腸がん | ● 前立腺がん(男性のみ) |
| ● 頭頸部(舌)がん | ● 乳がん |
| ● 肝臓がん | ● 子宮頸がん(女性のみ) |
| ● 膵臓がん | ● 卵巣がん(女性のみ) |
| ● 腎臓がん | ● アルツハイマー型認知症 |



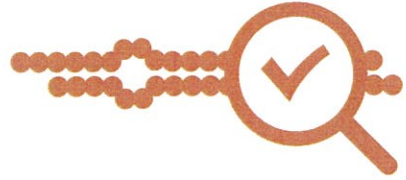
特にこんな人にオススメです



- がんで亡くなった家族や親族が多くて気になる人
- がんや認知症の兆候を早く見つけたい人
- がんや認知症にならないか不安がある人
- 物忘れがひどくなってきて気になっている人

ミアテストプラチナなら、少量を採血するだけで、
早期に発見したいがんやアルツハイマー型認知症の
リスク判定を行うことができます。

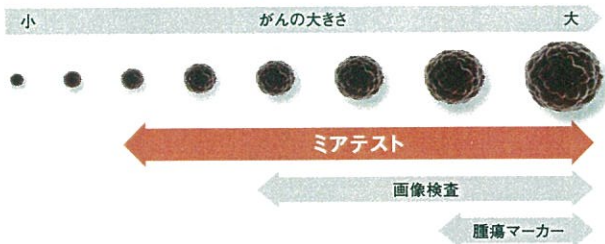
ミアテストプラチナとは
少量の採血でリスクの有無を判定する高感度な検査



特長 1 従来の検査よりも早期にリスクを発見

ミアテストプラチナは、これまでの検査よりも、早期の段階で、
がん・アルツハイマー型認知症のリスクを発見できる可能性
がある検査です。

[がんの大きさと検査による発見]



がん細胞は時間とともに大きくなりますが、ある程度の大きさにならない
と、画像検査による発見は期待できません。これに対して、ミアテストは
がんの大きさに関係なく、がんのリスクを判定します。しかも、リスクを
見逃しにくい高感度な検査です。

軽度認知障害のリスクも検知

近年、認知症の前段階として、軽度認知障害が注目されてい
ます。軽度認知障害では、状態の変化が顕著ではないため、見過
ごされることもあります。ミアテストは軽度認知障害の段階でも、
リスクを拾える可能性があるため、早期から対策することで、
アルツハイマー型認知症の発症を予防できる可能性があります。

軽度認知障害 ▶ 認知症

ミアテストは軽度認知障害のさらに
前の段階から血液中に放出され
る、マイクロRNAを検知

特長 2 血液検査だから手軽で安全

ミアテストプラチナは、少量を採血するだけ
で、がんやアルツハイマー型認知症のリスク
判定を行うことができます。血液検査なの
で、被爆のリスクもなく、内視鏡検査のよう
な手間もなく、手軽に受けることができます。



ミアテストプラチナ
こんなことも知っておいてください



■ リスクが高かった場合は精密検査を

ミアテストプラチナは、がんやアルツハイマー型認知症
のリスクを判定する検査で、病気の進行度に関係なく、
リスクを検知します。また、確定診断を行う検査ではな
いため、リスクが高いと判定されたら、精密検査を受ける
ことが推奨されます。

■ 高感度な検査といえども完全ではない

「感度が高い」とは、その疾患の患者が検査を受けたら陽性
になる確率が高いという意味で、高感度なミアテストプラ
チナは、リスクを見逃しにくい検査です。しかし、どんな検査
も完全ではありません。偽陽性といって、リスクがないのに
「ある」と判定される場合や、偽陰性といって、リスクがある
のに「ない」と判定される場合もあることをご理解ください。

がんもアルツハイマー型認知症も 早期に発見し、早期に治療を 開始することには、大きなメリットがあります。



ミアテストプラチナによる早期発見の特徴

バイオマーカーであるマイクロRNAが早期から増加するため、早期の段階でもリスクを拾える可能性がある

早期発見のメリット がんの場合

早期の治療で良好な予後が期待できる

がんの治療成績を表す指標として、5年生存率がありますが、がんの進行度を表すステージが低いほど5年生存率が高く、このことから早期発見が重要であることがわかります。

主ながんの5年生存率

がん/ステージ	I期	II期	III期	IV期
食道	79.7	49.7	26.4	11.4
胃	94.9	68.2	43.4	9.6
大腸	95.5	88.4	76.7	18.5
肝	59.8	41.7	16.1	3.9
肺、気管	81.3	47.9	21.7	4.8
女性乳房	100.0	95.7	80.6	37.8
膵臓	43.2	20.8	6.5	1.8
子宮頸部	95.2	80.8	61.5	25.3
子宮体部(子宮内膜)	96.8	90.0	75.4	23.5
前立腺	100.0	100.0	100.0	62.0
膀胱	89.1	64.5	48.1	19.2

資料:国立がん研究センター「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2008-2009年5年生存率集計報告書」

■ 早期発見により負担が軽減される

がんにもよりますが、早期がんであれば、内視鏡で手術可能なケースもあるなど、早期に治療できれば、身体的な面はもちろん、時間的・経済的な面においても、より少ない負担で治療を受けられることが少なくありません。

早期発見のメリット アルツハイマー型認知症の場合

早期に治療を開始するほど進行が緩やかに

アルツハイマー型認知症を根本的に治すことは、現時点では難しいとされていますが、病状の進行を遅らせることができる薬が開発されており、早くから治療を開始するほど進行が緩やかになるとされています。

■ 認知症にあらかじめ備えておくことができる

まだ意思表示が適切にできる段階で、将来に備えておくことができることも、早期発見のメリットです。たとえば、事前に関係人を決めておくことができたり、住環境の問題を改善しておいたり、行政から受けられるサポートを調べておいたりするといったこともメリットになります。



あなたの健康投資にミアテストプラチナを

がんもアルツハイマー型認知症も、早期に発見できるほどメリットがあります。ミアテストプラチナを、あなたの健康投資として、ぜひご活用ください。検査の結果、健康な状態が確認できれば安心できますし、リスクがあるとわかれば、生活習慣の改善による病気の予防や、早期発見・早期治療につなげることができます。